

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月29日

上場会社名 大日本住友製薬株式会社

上場取引所 東大

コード番号 4506 URL <http://www.ds-pharma.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 多田 正世

問合せ先責任者 (役職名) 広報部長

(氏名) 樋口 敦子

TEL 06-6203-1407

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

平成21年12月1日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	132,210	△1.6	18,919	4.1	19,053	4.6	12,654	16.4
21年3月期第2四半期	134,358	—	18,177	—	18,208	—	10,870	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	31.85	—
21年3月期第2四半期	27.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	394,210	333,210	84.5	838.42
21年3月期	391,294	324,495	82.9	816.49

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 333,116百万円 21年3月期 324,408百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
22年3月期	—	9.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	264,000	△0.0	29,000	△7.0	27,000	△14.0	18,000	△9.9	45.30

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

上記業績予想には、このたび子会社化したセブラコール社の業績は含んでおりません。現在、子会社化に伴い発生するのれんや研究開発費等の評価算定を行っているところであり、これらの影響額が確定次第速やかに公表する予定です。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 397,900,154株 21年3月期 397,900,154株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 582,925株 21年3月期 580,814株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 397,318,067株 21年3月期第2四半期 397,391,757株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件等につきましては、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,322億10百万円（前年同四半期比1.6%減）、営業利益189億19百万円（前年同四半期比4.1%増）、経常利益190億53百万円（前年同四半期比4.6%増）、四半期純利益126億54百万円（前年同四半期比16.4%増）となりました。

事業の種類別セグメントの状況をみますと、医薬品事業では、消化管運動機能改善剤「ガスモチン」、末梢循環改善剤「プロレナール」、カルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」、統合失調症治療剤「ロナセン」や深在性真菌症治療剤「アムビゾーム」等の売上高が増加したことに加え、当連結会計年度より連結の範囲に加えた住友制薬（蘇州）有限公司の寄与等がありました。最主力品である高血圧症・狭心症治療薬「アムロジン」の減収の影響等により、売上高は1,035億42百万円（前年同四半期比2.4%減）となりました。一方、広告宣伝費、販売促進費等の減少により、販売費及び一般管理費が前年同四半期に比べて減少した結果、営業利益は176億78百万円（前年同四半期比0.9%増）となりました。

その他の事業では、動物用医薬品、飼料・飼料添加物、食品添加物、工業薬品、診断用薬、研究検査用資材等の販売を行っており、売上高は286億67百万円（前年同四半期比1.5%増）、営業利益は12億40百万円（前年同四半期比88.5%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産等の状況に関する分析

・資産の部

総資産は前連結会計年度末に比べ29億15百万円増加し、3,942億10百万円となりました。本年10月に行ったセプラコール社買収に備え、短期の運用を中心に行ったこと等により、流動資産は前連結会計年度末に比べ70億46百万円増加し、2,705億86百万円となりました。一方、固定資産は時価の上昇等により投資有価証券が増加しましたが、有形固定資産や投資その他の資産のその他が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ41億31百万円減少し、1,236億23百万円となりました。

・負債の部

支払手形及び買掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ57億99百万円減少し、610億円となりました。

・純資産の部

純資産合計は3,332億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ87億14百万円増加しました。なお、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は84.5%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期の連結業績予想は以下のとおりです。平成21年5月11日に公表しました業績予想を修正しております。

なお、このたび子会社化したセプラコール社の業績は含んでおりません。現在、子会社化に伴い発生するのれんや研究開発費等の評価算定を行っているところであり、これらの影響額が確定次第速やかに公表する予定です。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	264,000	25,000	24,000	15,000	37 75
今回発表予想 (B)	264,000	29,000	27,000	18,000	45 30
増減額 (B - A)	0	4,000	3,000	3,000	
増減率 (%)	0.0	16.0	12.5	20.0	
前期実績	264,037	31,166	31,395	19,987	50 30

《売上高》

第2四半期連結累計期間の売上高はほぼ予想通りに推移しており、通期の予想については前回予想を変更していません。

《営業利益》

平成22年3月期の最重要課題の一つとして、継続的な経営効率の追求を掲げ、あらゆる経費の見直しや優先順位付けに基づいた研究開発費の効果的使用などにより経営効率の向上に取り組んでおります。これらの取り組みにより、販売費及び一般管理費、製造経費を中心に当初見込んでおりました以上の圧縮が達成できる見通しが立ちましたことから、前回予想から40億円の増益を見込んでおります。

《経常利益・当期純利益》

セプラコール社の株式買付け等に要する資金の調達に伴い、支払利息等の営業外費用の増加要因がありますが、経常利益、当期純利益とも前回予想から30億円の増益を見込んでおります。

※なお、本日付で個別業績予想の修正を行っております。詳しくは、本日発表しました「平成22年3月期第2四半期累計期間業績予想との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

・ たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

・ 繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化がなく、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

・ 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示してしております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,390	21,990
受取手形及び売掛金	81,919	79,759
有価証券	42,503	34,500
商品及び製品	37,391	39,674
仕掛品	2,312	2,934
原材料及び貯蔵品	11,387	11,901
短期貸付金	50,000	50,000
その他	22,863	23,174
貸倒引当金	△182	△394
流動資産合計	270,586	263,539
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	84,039	83,820
減価償却累計額及び減損損失累計額	△45,364	△44,329
建物及び構築物(純額)	38,674	39,490
機械装置及び運搬具	72,717	70,438
減価償却累計額及び減損損失累計額	△60,679	△59,390
機械装置及び運搬具(純額)	12,037	11,048
土地	9,975	9,975
建設仮勘定	2,455	4,024
その他	24,847	24,586
減価償却累計額及び減損損失累計額	△20,653	△20,021
その他(純額)	4,193	4,565
有形固定資産合計	67,338	69,104
無形固定資産	5,990	6,407
投資その他の資産		
投資有価証券	38,121	33,982
その他	12,283	18,362
貸倒引当金	△110	△102
投資その他の資産合計	50,295	52,242
固定資産合計	123,623	127,754
資産合計	394,210	391,294

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,393	18,523
未払法人税等	6,914	6,298
賞与引当金	7,041	8,120
返品調整引当金	67	96
売上割戻引当金	477	412
その他	20,017	19,897
流動負債合計	46,912	53,349
固定負債		
長期借入金	900	—
退職給付引当金	9,491	9,253
役員退職慰労引当金	44	42
その他	3,651	4,153
固定負債合計	14,088	13,449
負債合計	61,000	66,799
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,400	22,400
資本剰余金	15,860	15,860
利益剰余金	289,692	281,628
自己株式	△644	△643
株主資本合計	327,308	319,245
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,117	5,162
繰延ヘッジ損益	△1,241	—
為替換算調整勘定	△66	—
評価・換算差額等合計	5,808	5,162
少数株主持分	93	87
純資産合計	333,210	324,495
負債純資産合計	394,210	391,294

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	134,358	132,210
売上原価	52,834	51,351
売上総利益	81,523	80,858
返品調整引当金繰入額	14	—
返品調整引当金戻入額	—	29
差引売上総利益	81,509	80,887
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	66	14
給料	8,231	8,701
賞与引当金繰入額	4,370	4,491
役員退職慰労引当金繰入額	6	6
研究開発費	24,784	24,245
その他	25,872	24,509
販売費及び一般管理費合計	63,331	61,968
営業利益	18,177	18,919
営業外収益		
受取利息	498	378
受取配当金	380	348
受取保険金	248	198
その他	319	500
営業外収益合計	1,447	1,426
営業外費用		
支払利息	58	35
寄付金	927	923
その他	429	333
営業外費用合計	1,416	1,293
経常利益	18,208	19,053
税金等調整前四半期純利益	18,208	19,053
法人税等	7,332	6,393
少数株主利益	6	5
四半期純利益	10,870	12,654

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	18,208	19,053
減価償却費	5,499	5,475
退職給付引当金の増減額(△は減少)	133	728
その他の引当金の増減額(△は減少)	△1,384	△1,248
受取利息及び受取配当金	△878	△727
支払利息	58	35
売上債権の増減額(△は増加)	1,684	△2,075
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,530	3,862
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,980	△5,888
その他	△2,289	△1,179
小計	19,582	18,035
利息及び配当金の受取額	893	907
利息の支払額	△33	△11
法人税等の支払額	△10,063	△5,936
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,378	12,994
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,000	—
定期預金の払戻による収入	3,000	5,000
有価証券の売却による収入	1,000	—
有価証券の償還による収入	—	2,000
有形固定資産の取得による支出	△10,278	△3,023
無形固定資産の取得による支出	△1,967	△529
投資有価証券の取得による支出	△3,822	△376
子会社株式の取得による支出	—	△1,070
その他	74	127
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,993	2,127
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△100
長期借入金の返済による支出	△4,600	—
自己株式の純増減額(△は増加)	△61	△1
配当金の支払額	△3,574	△3,574
少数株主への配当金の支払額	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,236	△3,676
現金及び現金同等物に係る換算差額	47	△18
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△10,804	11,427
現金及び現金同等物の期首残高	56,259	49,481
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	482
現金及び現金同等物の四半期末残高	45,455	61,390

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	医薬品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	106,109	28,249	134,358	—	134,358
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	106,109	28,249	134,358	—	134,358
営業利益	17,519	658	18,177	—	18,177

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	医薬品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	103,542	28,667	132,210	—	132,210
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	103,542	28,667	132,210	—	132,210
営業利益	17,678	1,240	18,919	—	18,919

(注) 1 事業区分は、製品の種類と当社グループの内部管理上の事業区分に基づいて「医薬品」および「その他」にセグメンテーションしております。

2 各事業の主な製商品

事業区分	主な製商品
医薬品	医療用医薬品
その他	動物用医薬品、飼料・飼料添加物、食品添加物、診断用薬等

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

在外連結子会社および重要な在外支店がありませんので、所在地別セグメント情報を記載していません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えており、所在地別セグメント情報の重要性が低いと判断したため記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

I 海外売上高(百万円)	12,647
II 連結売上高(百万円)	134,358
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	9.4

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

I 海外売上高(百万円)	12,434
II 連結売上高(百万円)	132,210
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	9.4

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。